

ガーデニングサービスが生み出す庭の役割とその意味に関する研究

—オーストラリア・シドニーを対象として—

A study on the roles and the meanings of the gardens that the gardening services recreate.

-A case study in Sydney, Australia-

伊藤美希子
Mikiko Ito

土肥真人
Masato Dohi

This study aimed to clarify the roles and meaning behind the gardens that the gardening service recreates. Staff and volunteers of six gardening services in Sydney, Australia were surveyed and interviewed. From this research, the following results were obtained: 1. The role of the gardening services is to make safe and low maintenance gardens for elderly people. Volunteers are rewarded for their time and effort by accumulating gardening skills and friends through the service. 2. The importance of the gardens lies in their role as a place in which clients may carry out social activities. 3. The meaning behind the gardens is that the garden maintains the connection between the clients and their community.

Key Word: 庭, ガーデニング, 高齢者, ボランティア, 地域

Garden, Gardening, Elderly people, Volunteers, Community

1. 研究の背景と目的

(1) 研究の背景

高齢化は現代社会が抱える問題の一つとなっており、これは日本のみならず先進国、発展途上国共に抱える世界的規模の課題となっている。

オーストラリアでは行政による助成のもと、高齢者、障害者及び彼らの介護者を対象としてガーデニングサービスを提供する団体が存在する。ニューサウスウェールズ州（以下 NSW 州）ではこのガーデニングサービスが展開され、ボランティアの協力により安価な値段もしくは無料でガーデニングサービスを提供している。さらに定期的に訪問してローメンテナンスな庭へと作り変えるサービスが存在する。本研究ではガーデニングサービスの実態と役割及びガーデニングサービスボランティアの意識を把握し、その上でガーデニングサービスの活動によって生み出される庭の役割及び意味について考察することを目的とする。

既往研究としてはオーストラリアの福祉制度に関する研究として、オーストラリアと日本における社会福祉及び高齢者福祉についての比較研究¹⁾やケーススタディを通して高齢者在宅福祉サービスにおける地方自治体の役割と特徴を検討しているもの²⁾、地域ケアにおけるチームアプローチとネットワーク形成³⁾についての研究はあるものの、ガーデニングサービス及びボランティアの実態と、個人の庭に関する分析、考察を行った研究は管見では見られない。

(2) 方法と論文構成

本章の各章の関係と論文構成を【図-1】に示す。第

2 章では、文献調査によりオーストラリアにおける高齢者福祉の現状と庭の維持管理の現状について

概観し、ガーデニングサービスが発足した背景を把握する。第 3 章では、NSW 州シドニーに在るガーデニングサービス団体を対象として、文献調査とヒアリング調査によりガーデニングサービスの実態を把握する。第 4 章では、ガーデニングサービスのボランティアに対するアンケート調査を通じて、ボランティアの意識を把握、分析しガーデニングサービスの役割を探る。第 5 章では、団体の実態とボランティアの意識から、ガーデニングサービスの役割と、サービスが生み出す庭の役割及び意味を考察し、第 6 章で結論を述べる。

2. 高齢者への社会保障と庭の維持管理の現状

(1) オーストラリアの高齢者への社会保障の変遷と現状

オーストラリアは 20 世紀初頭には世界に先駆けて老齢年金制度が創設される等、世界で最も早く各種の社会保障給付の制度が成立した国である。社会保障全体の歴史の変遷を見ると、連邦政府設立から 4 つの時期に分けて考えることができるといわれている。⁴⁾【図-2】1950、60 年代における高齢者ケアは施設ケアが中心であったが、1970 年代に入り施設ケアから地域在宅ケアへ

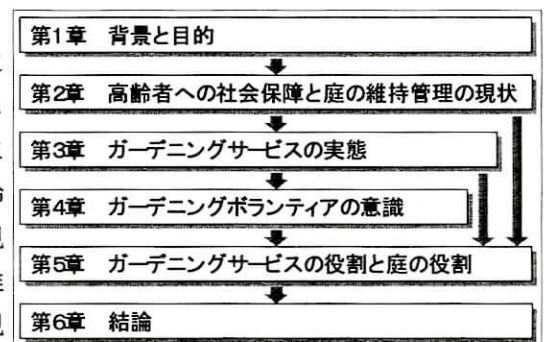


図-1 論文構成図

年	社会福祉	高齢者福祉
1900	1901-1912 先駆者的立法の時期	●1909 老齢年金開始
1920	1912-1972 社会保障全体の停滞期	●1940 老齢年金の物価スライド
1940		●1951 年金受給者 ●1954 医療制度 ●1956 ●1969 在宅ケア ●1970 補助金法 ●1974 配食サービス ●1974 補助金法 ●1974 老人ホーム 補助金法 ●1974 助成法
1960	1972-1983 (ウィットラム政権) 改革の試みと発展期	●1985 Home and Community Care (HACC)プログラム創設
1980	1983-1996 (ホーク政権) 飛躍的発展期	●1985 高齢者ケア改革戦略 介護者年金 ●1991 中間報告
2000		

図-2 オーストラリアの社会福祉・高齢者福祉の変遷

と移行していった。欧米で施設ケアから地域・在宅ケアへの理念の転換が行われたこと、またナーシングホームを急速に整備したため、財政負担が連邦政府と入所者の両方にかかったこと等が理由として挙げられている。1983年に政権についた労働党は、1985年から施設ケア部門と地域ケア部門の両方を含む総合的な高齢者ケア改革に着手し、同年に本格的な地域・在宅ケアの取り組みとして「Home and Community Care Act (以下 HACC)」(地域・在宅ケア法)を成立させた。この改革により、従来の連邦政府による在宅ケア補助金法、パラメディカルサービス補助金法、配食サービス補助金法、在宅看護補助金法を統合し、大幅な予算の増大を図った。

表-1 HACC プログラムの概要

管轄省	高齢・障害在宅ケア省
財源	連邦政府 60% / 州政府 40%
プログラムのねらい	<ul style="list-style-type: none"> 虚弱な高齢者、障害者、介助者に対し、統合的かつ包括的な基本的維持管理、サポートサービスを提供すること 生活の質の向上、不適当な長期の施設ケアを防ぐことによって、コミュニティ内において彼らの自宅でより自立した生活ができるようサポートしていくこと
主なサービス	看護ケア/健康ケア/食事サービス/家事補助/個人ケア/家の改修、維持管理/送迎(運送)/一時的(レスパイト)ケア/カウンセリング、支援、情報提供、弁護/査定

HACC プログラムはオーストラリア政府と州政府の合同プログラムであり、オーストラリア政府が 60%、州政

【出典】Department of Health and Ageing(2004)

府が 40%を

負担する。【表-1】また 2003 年 12 月時点で HACC が補助している団体は 3000 団体あり、多くの非営利団体に資金を提供している。また年間約 70 万人にサービスを提供している。

(2) 庭の維持管理の現状

オーストラリアの個人住宅の庭は通常 2 種類に分けることができる。道に面している Front yard(前庭)、家屋を挟んで奥に在る Backyard(裏庭)である。前庭は塀の高さが地方自治体毎に決められており、前庭のほとんどが道から見える。反対に裏庭には隣宅との間に高い塀がり前庭とは相反して視覚的にも遮られているため、プライ

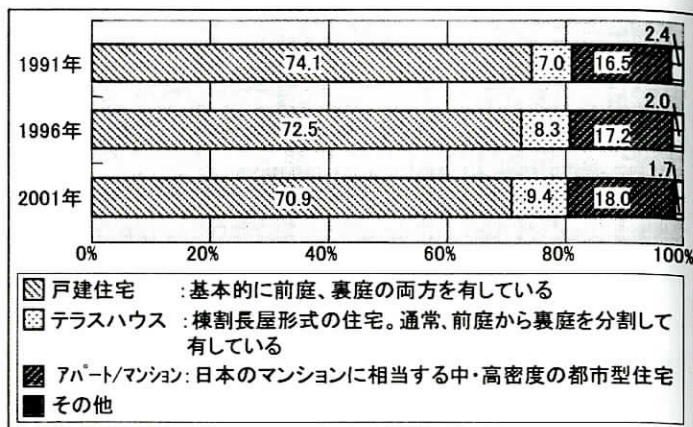


図-3 オーストラリアの住宅形式の割合

【出典】Australian Bureau of Statistics(2002)

ベートな性格を持つ。オーストラリアの住宅形式は 3 種類に分かれており、国の統計局が行っている調査によると NSW 州では庭を持つと考えられる住宅は 8 割強である。【図-3】庭を所有している場合には維持管理が必須であり、自身ですることが出来ず、庭師を雇った場合、年間約 960 豪ドル以上かかる。また高齢者の持ち家率を見てみると 91%と高く、多くの高齢者が庭を所有し且つその維持管理を必要としていると考えられる。

3. ガーデニングサービスの実態

本章ではシドニーにおけるガーデニングサービスの実態を明らかにすることを目的とする。この為(1)調査対象を選定し、(2)ヒアリング調査及び団体の刊行物を用いた文献調査からガーデニングサービスの活動実態及び団体スタッフの意識について把握する。【表-2】

表-2 団体スタッフへのヒアリング調査概要

調査日時	2004 年 11 月～2005 年 1 月	
調査対象	6 団体の各代表者	スタッフ 6 名
調査時間	0.5～2.5 時間	～0.5 時間
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> 団体概要(組織/関係行政/利用者数/ボランティア数) 団体の活動実績(サービス内容/ガーデニング作業内容) 長所/改善点/今後の課題 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事内容 長所/改善点

(1) 調査対象の選定

ガーデニングサービスは NSW 州のみに存在しており、16 団体が活動を行っている。本研究ではシドニーシティ近郊の 6 団体を調査対象とした。【図-4】

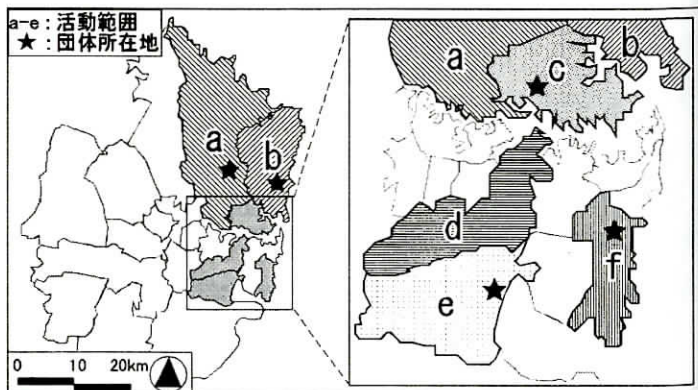


図-4 対象団体の所在地と活動範囲(a-e は表-3に対応)

表-3 調査対象団体の概要

団体	団体名	利用者数	ボランティア数	設立年	サービス料金	活動地域	人口	高齢者率	活動財源(豪ドル)	
									HACC	自治体からの助成・寄付
(a)	Easy Care Gardening Inc	550	174	1988	3豪ドル/時間 *ボランティア数	Hornsby	100154	16	259,244	32,638
						Ku-ring-gai	144692	12.4		
						Ryde	94243	14.4		
						Hunter Hills	12570	17.5		
(b)	Easy Care Gardening Service	170	65	1991	35-60豪ドル	Manly	36542	14.8	146,528	1,500
						Warringah	127613	14.5		
						Pittwater	52377	13.8		
						Lane Cove	30338	13.4		
(c)	Lower North Shore Easy Care Gardening Service	200	30	2001	60豪ドル/回	Mosman	25476	14.2	-	-
						North Sydney	54969	11.6		
						Willoughby	58319	13.7		
						Canterbury	129935	12.9		
(d)	Garden care Service	120	30	2002	20豪ドル/日	Marrickville	72589	10.2	10,300	なし
						Leichhardt	61101	9.8		
						Rockdale	87658	15.8		
						Kogarah	49885	15.4		
(e)	St George Easy Care Gardening Service	100	21	2002	45-80豪ドル	Hurstville	70010	15.5	12,600	なし
(f)	Randwick Gardening Care	50	1	NA	5-30豪ドル	Randwick	118580	13.2	なし	7,010

主力としており、主に活動地域からボランティアを募集している。これにより安価なサービスを提供することができる。活動場所が個人の庭であり、家屋内へ入る事も在り得るため、雇用時に無犯罪証明を必要としている団体もある。

(2) ガーデニングサービス団体の活動実態【表-3】

① 設立経緯

団体(a),(b)は地域住民やボランティアが助成金を求め作り出したサービスで、その他の団体は行政からの要請で設立されたもの、もしくは既存の団体(a)(b)に倣って設立したものである。15年以上サービスを運営している団体(a)はほとんどの団体の設立支援を行い、それによって設立された団体(c)も他の団体の設立支援を行っていた。このように半年毎に行なわれる連絡会のみならず、設立時には団体同士で連携をとっていることがわかった。

② 目的

団体(a) (b) (c) (d) (e)は HACC プログラムからの助成を受けている。そのため同プログラムのねらいに沿い、高齢者、障害者、介護者を対象として、自宅での自立生活の存続のために安価な値段で庭を手入れし、且つローメンテナンスな庭へと作り変えることを目的としている。自治体からの補助を主な財源としている団体(f)は、HACC プログラムによる助成は得られていないが、目的としては他団体と同様に、対象者の自宅における自立した生活の存続を挙げている。但し、団体(f)の目的にはローメンテナンスな庭への変換は挙げられていない。

③ 料金設定

サービス料金はそれぞれの団体ごとに設定しており、これらの基準は団体によって異なる。団体(a)ならば、ボランティアの人数と活動時間により、団体(c)は何日費やそうと、同一の料金を設定している。各団体とも一利用者に平均で年2回のサービスを提供しており、全ての団体は一般のガーデニングサービスより安価な値段で提供していることから、庭師に依頼するのに比して、年間で約六分の一から十分の一の費用である。

④ 業務内容及び作業工程

代表的な業務及び作業工程について【図-5】に示す。団体(a) (b) (c) (d) (e)のサービスはボランティアを活動の

また雇用後は、ボランティアのためのガーデニング訓練を行っており、ガーデニング技術を得られる機会を提供している。団体スタッフは利用者に対して経済状況、庭等を査定し作業の優先度を決めている一方で、ボランティアの雇用、訓練、調整を行っている。利用者が経済的に困難な状況にある場合は利用者に対して無償でサービスを提供している。

作業においては、団体(f)のみ、契約庭師を用いており、料金の一部を利用者が負担し、団体側が残額を負担するというやり方でガーデニングサービスを提供している。その他の団体では数人のボランティアによるチームが生まれ、チームリーダー及びスタッフを中心として作業をすすめていく。作業内容としては主に、草むしり、剪定、マルチング⁸⁾などの作業がある。この際、新聞紙を用いたマルチングにより半年以上雑草の出でこないようにするなど、ローメンテナンスの庭へと作り変えるために様々な工夫がなされている。作業の間には「モーニング

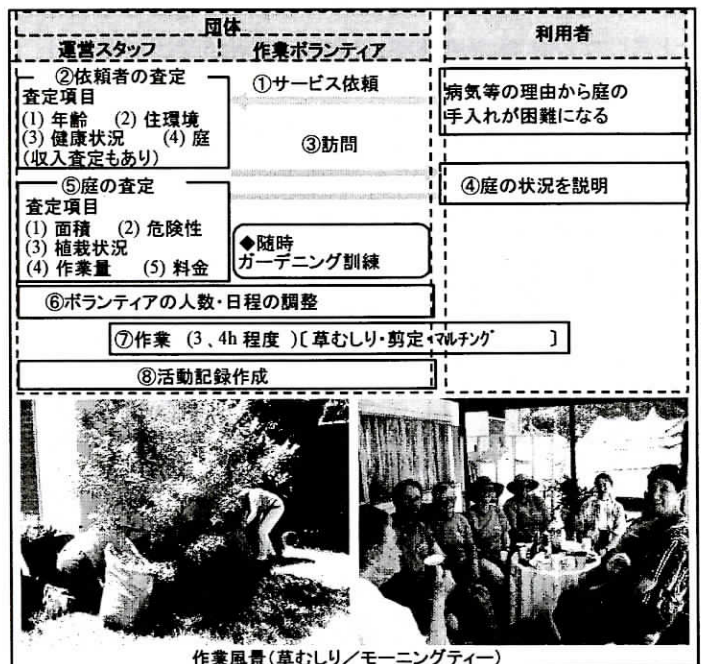


図-5 業務及び作業工程

ティー」と呼ばれる休憩をとっており、ボランティア同士の交流の場を団体側が用意していると考えられる。

⑤ スタッフの意識【図-6】

スタッフから得られた意見は84件であった。「サービスに関する意見」から、資金や運営面において問題を抱えながらも、団体スタッフが誇りを持って団体の運営に

<p>サービスに関する意見(28)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■サービスへの誇り(9) ■サービスに関する問題点(13) <ul style="list-style-type: none"> ・資金不足(6) ・サービス運営の困難・問題点(4) ・その他(3) ■将来の展望(6) 	<p>利用者に関する意見(29)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■利用者立場の尊重(6) ■利用者への配慮(12) <ul style="list-style-type: none"> ・利用者への対応方法(5) ・庭の取り扱い方(7) ■利用者に関する問題点(9) <ul style="list-style-type: none"> ・サービス待ち、予約リスト(5) ・活動の趣旨に合わない利用者(4) ■利用者から得られる喜び(2)
<p>ボランティアに関する意見(11)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ボランティアの雇用(3) ■ボランティアに関する問題点(8) <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの不足とその影響(4) ・ボランティアの人数調整の困難(4) ■利用者との交流(5) 	<p>各団体に関する意見(11)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■他団体との比較(5) ■設立時の関係(5) ■その他(1)

図-6 ガーデニングサービススタッフの意識

従事していることがわかった。「ボランティアに関する意見」から、活動の主力であるボランティアの不足や、調整面の難しさなどが挙げられた。「利用者に関する意見」からは、団体スタッフが利用者の立場を尊重し、対応方法、また作業時における庭の取り扱い方に配慮していることがわかった。一方で、安価な値段でサービスを提供しており、時には無償で行うこともあるため、お金がない等の嘘をつかれる等利用者による立場の利用という問題点も挙げられた。「各団体に関する意見」においては、他団体との関係について意見が得られ設立時には支援を受ける等の関連があっても、その後はそれぞれ独自に運営していたことがわかった。

4. ボランティアが抱く庭とサービスに対する意識

本章では、ボランティアの意識を通じてこのサービスの役割とまたその庭の役割を明らかにすることを目的とする。アンケートの概要は【表-4】に示す。

表-4 アンケート調査概要

配布日時	2004年11月~12月	
配布先	団体(a)~(f)のボランティア	
配布方法	ボランティア活動時	各団体に配布依頼
回収方法	活動時に回収	郵送回収
配布数	143部	
回収数(回収率)	59部(41.2%)	
調査項目	基本属性	性別/年齢/活動年数
	ボランティアについて	活動理由/サービスを見つけたきっかけ 他のボランティア活動/ボランティア同士の交流
	ガーデニングサービスについて	サービスへの評価/サービスから得るもの 地域との関係
	庭に対する意識	自身の庭/利用者の庭
	ガーデニングについて	自身の庭/利用者の庭

(1) ボランティアの実態

40歳以上の参加者が9割を超えており、特に60歳以上は3割を超えていることから高齢者も参加できるボランティアである。①(以下【図-7】の番号に対応)「ボランティアを始めた理由」としては「誰かを助けたかった」(41%)が最も多く、次いで「社会サービスに興味があ

った」(18%)、「地域の人と接したかった」(15%)であった。また、ボランティア活動として②「ガーデニングボランティアを選んだ理由」について、「ガーデニングが趣味」と答えた人は58%、「趣味ではないがガーデニングに興味があった」は36%であることから、ガーデニングに関心を抱き、ボランティア活動として選んだことがわかる。「その他」(3%)には「役に立つサービスと趣味を結びあわせたかった」という回答から、趣味をしながら出来るボランティアと認識していることがわかる。また③「サービス外におけるボランティアとの交流」があるかどうかを調査したところ、「ある」は65%、「ない」は35%であり、半数以上が交流を持っていることがわかった。

(2) ガーデニングサービスに対する意識

④「サービスに対する評価」に関しては、「活動を通じてこのサービスが高齢者や対象者に必要だということがわかった」、「このサービスは利用者にとって満足のいくものだ」、「サービスが提供している維持管理は役にたっている」とは、総じて評価され、ボランティアはガーデニングサービスを評価し、価値を見出して活動していることがわかる。利用者にとっても満足のいくサービスであることを確信してはいるが、その頻度に関してのみ、評価していないボランティアが存在した。⑤「ガーデニングサービスを通じて得たもの」(複数回答可)については、「友人」41件と最も多く、次いで「ガーデニング技術」30件、「ガーデニング情報」29件、「その他」13件で「満足感」、「達成感」、「人助け」、「訓練」等があげられた。⑥「活動を通じたガーデニング技術と知識の向上」については、9割以上が「強く思う」、「そう思う」と答えている。⑦「活動中の利用者との交流」については、約9割が「ある」と答えた。ガーデニングサービスは特定の地域に限られていることから、ほとんどのボランティアはその特定地域内に住んでいる。それ故、ボランティアと利用者とは同じ地域の居住者であり、「活動中の交流」は地域内の交流と言える。また⑧「利用者との交流内容」は、「会話をする」(60%)や「お茶をする」(36%)ことから、モーニングティー等の休憩中には利用者との交流が生まれる機会がある。また「利用者でも可能なら一緒に作業を行う」、「特定の植物についてアドバイスをする」等ガーデニングに関する回答もあった。また⑨「活動経験のある家の側を通る時庭を思い出すか」では「いつも」と答えた人は半数以上で、残り「時々」と答えたことからその活動場所である庭を記憶していることがわかった。⑩「サービスの活動を通じて地域の知識は増えたか」は「はい」と答えたのが全体の約9割であったことから、活動が行われる

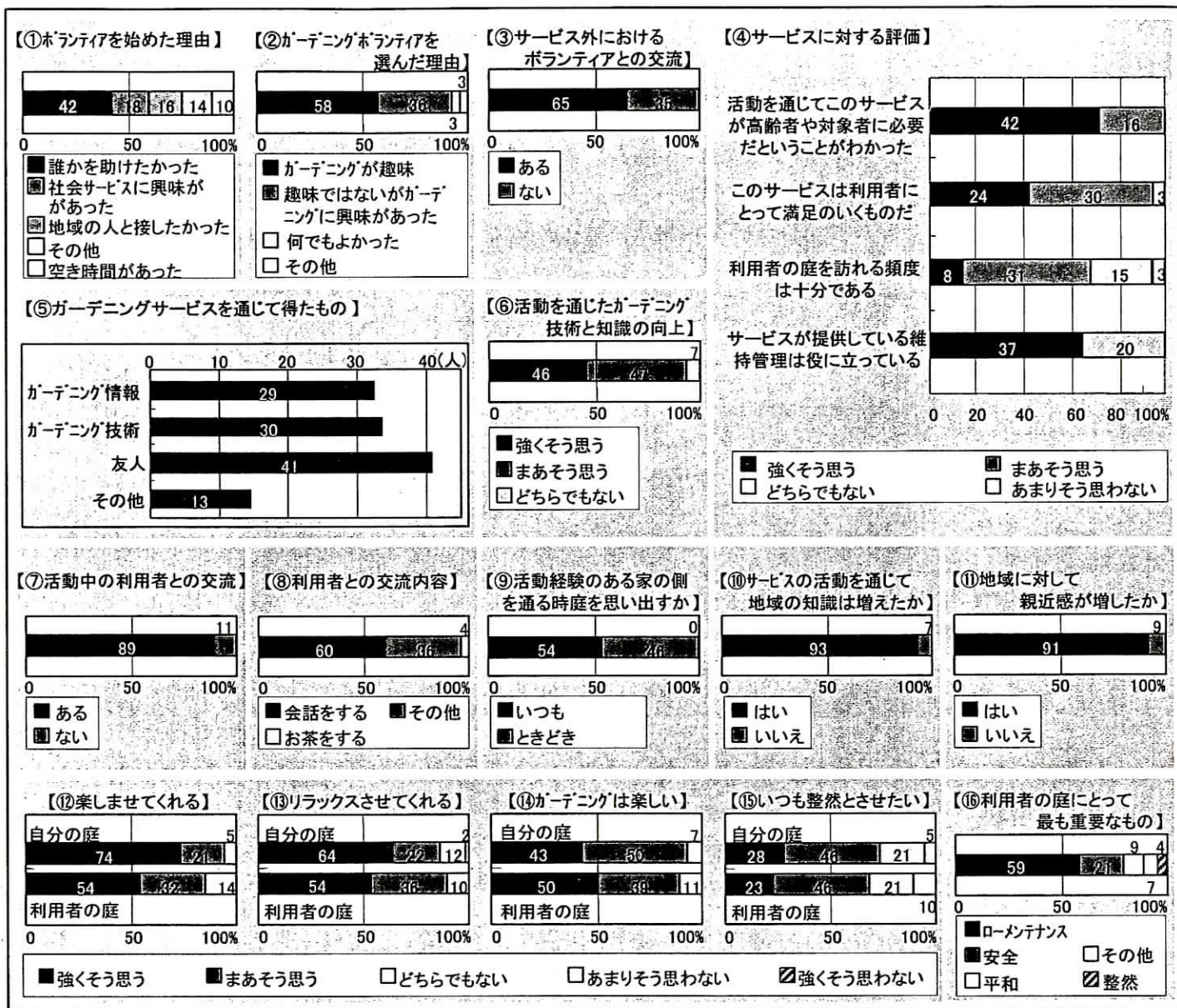


図-7 アンケート調査結果

利用者の庭は、ボランティアが地域情報を取得出来る場としての役割を担っていることがわかる。また⑩「地域に対して親近感が増したか」には「はい」と答えたのは9割以上であり、このサービスは利用者にはガーデニングを提供するという目的の達成のみならず、ボランティアに対してコミュニティの情報を提供し、相互の関係をより身近なものにするという役割を担っている。

(3) ボランティアが抱く庭に対する意識

次にボランティア自身の庭と、活動の場である利用者の庭を比較した。利用者の庭でも自身の庭と同様に⑫「楽しませてくれる」、⑬「リラックスさせてくれる」と感じており、⑭「ガーデニングは楽しい」に関しても同様であった。⑮「いつも整然とさせたい」については、自分の庭に対するほうがやや強かった。⑯「利用者の庭にとって最も重要なもの」を質問したところ、<ローメンテナンス>は59%であり、次いで<安全>(21%)という回

答であったことから、ボランティアはガーデニングサービス団体の目的を理解した上で活動に参加している。

(4) 自由回答

「利用者は50年以上もの長い間その家に住み、庭が育つのを見てきた。身体的に庭の手入れをすることが出来ないだけであって、サービスによる庭の変化を見て楽しむのである」[熱心な庭師であった人は、歳をとることによって庭が荒れていくことを望まない]など利用者にとって庭がどのような存在であるかを理解しようとする意見が見られた。また、プライベートな空間に入るサービスであることから「サービスは私達ボランティアを家と庭に招いてくれるという信用してくれる利用者によって成り立っている。もし私が高齢者か障害者で見知らぬ人達がパーソナルスペースに入ってきたらどうするだろうか」という意見もあった。利用者の立場とその庭に対する思いとを理解し、尊重している意見が得られた。

(5)まとめ

ボランティアはガーデニングに関心を持ち、サービスの活動意義を評価していることから、満足感、達成感を伴い楽しみながらやりがいのあるボランティア活動をしていることがわかる。ボランティアは「ガーデニング知識、技術」の獲得、利用者、ボランティア間の「交流」、「仲間」、また地域に関する「知識、情報」を得ている。本来の目的である「ローメンテナンス」な庭へと作り変えるという効果のみならず、このサービスはボランティアにとって、Second Benefit を創出していると言える。

5. ガーデニングサービスの役割と庭の意味

ガーデニングサービス団体とそのスタッフが抱く意識(3章)及びボランティアの意識(4章)を整理、考察し(1)ガーデニングサービスの役割と(2)庭の役割及び(3)庭の意味を総合的に考察することを目的とする。

(1)ガーデニングサービスの役割

ガーデニングサービスの役割は団体が目的として掲げている「対象者がより長く自宅で自立した生活を送れるよう、ローメンテナンスな庭へと作り変える」ことであり、ボランティアが無償で労働力を提供していることから市場より安価な値段でサービスを提供していることである。サービスはボランティアにガーデニング知識と技術、社会貢献等の自己実現、及びボランティア、利用者との交流による仲間を与えている。

(2)ガーデニングサービスが関わる庭の役割

利用者の庭は閉じられたプライベートな空間である。持ち主にとって維持することが困難になったその閉じられた庭は、ボランティアによって自分の庭と同等の価値を見出され、ローメンテナンスな庭へと作り変えられていく。その際、この庭ではボランティア同士及び利用者との交流が生まれ、一時的に開かれた空間となり得るのである。そして一度開かれたこの庭は、所有する利用者に対して社会的交流を生み出す役割を担っていく。

(3)ガーデニングサービスが生み出す庭の意味【図-8】

利用者との関係は、①利用者が健康な状態にある時には自らが庭を手入れし愛着や思い出が創出されるという関係だが、②病気等の理由から庭の手入れが出来なくなると、庭との関係が希薄になり、さらには害虫や毒草により自らにも地域にも危険な存在となり得る。そこで市場より安価かつ利用者の居住地区にある③ガーデニングサービスの利用により、同地域内のボランティアを介して庭との関係が再生され、一時的に開かれた庭は交流を生み出し、行為はボランティアに地域の記憶として蓄積される。サービスによって生み出された④ローメンテナンスな庭との関わりが始まり、以前のような関係が創出される。そして常に手入れを必要とする庭は、ガー

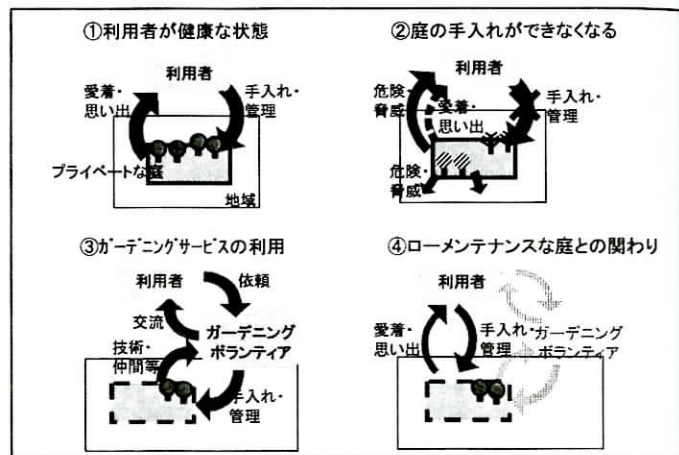


図-8 サービスが生み出す庭の意味

デニングサービス及びボランティアの来訪を待つというサービスとの継続的な関係を創出し、ボランティアに地域情報を更新する機会を得させる。常に手入れを必要とする庭が利用者との関わり、及び地域との関わりを維持しているのである。さらに、このように管理される庭が地域に伝播することにより、コミュニティによって管理される個人の空間が広がっていくのである。

6. 結論

○オーストラリアにおいて、高齢者はHACCプログラムにより、地域の中で出来るだけ長く自宅で自立した生活を送れるよう数多くのサービスが助成の対象となっている。高齢者が自宅で生活を続けるには、庭の手入れが不可欠であり、経済的にも身体的にも負担となり得る。

○NSW州シドニーのガーデニングサービス団体は、行政によって助成され、対象者が出来る限り自宅で自立した生活を送れるよう、ボランティアにより安価な値段で庭の手入れを可能にし、ローメンテナンスな庭に作り変えるという目的を掲げている。団体側は利用者の立場を尊重し、サービスに誇りを持ち活動している。(3章)

○ボランティアはガーデニングに関心があり、サービスを通じてガーデニング知識、技術及び共通の趣味を持つ仲間も得ている。ボランティアは活動意義を持ち、利用者の立場を尊重しつつ、本来の目的である庭の手入れを行っているが、同時に関係者にとって Second Benefit (二次的産物) が存在することが把握された。(4章)

【補注】

- 1) 西村淳「社会保障・社会福祉の歴史と現状」、小松隆二・塩野谷祐一編『先進諸国の社会保障2』、東京大学出版会、1999年、pp.201-220
- 2) 舟木神介「高齢者在宅福祉サービスにおける地方分権と地域民主主義の重要性-オーストラリア・ニューサウスウェールズ州の2つの地方自治体におけるケーススタディを通して-」、『オーストラリア研究』、第13号、オーストラリア学会、2001年、pp.76-86
- 3) 副田あけみ「地域ケアにおけるチームアプローチとネットワーク形成-オーストラリア・ホームズビーACAT(高齢者ケア評価センター)の事例・その1-」、『人文学報』、東京都立大学人文学部、No.339、2003年、pp.37-68
- 4) 前掲書1 pp.204-212
- 5) 'Program Overview' Australian Government, Department of Ageing, Disability and Home Care <http://www.health.gov.au>
- 6) 1豪ドル=約80円
- 7) Thomas Murrell, "Budget for your garden" <http://www.resources2000.com.au/BUDGET%20FOR%20YOUR%20GARDEN.doc>
- 8) 強い日差しによる地面の乾燥を防ぐ技術。新聞紙をウッドチップの下にひくことにより雑草の育成も防ぐことができる。